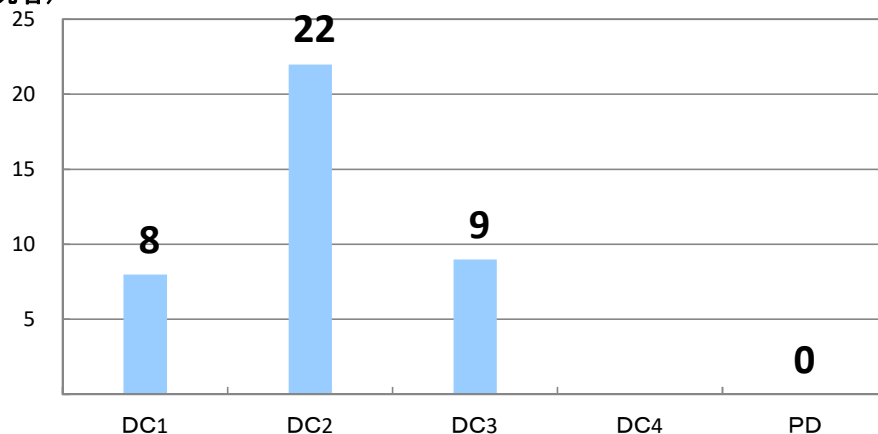


第42回(R1第4回)赤い糸会&緑の会 アンケート(研究者・企業)

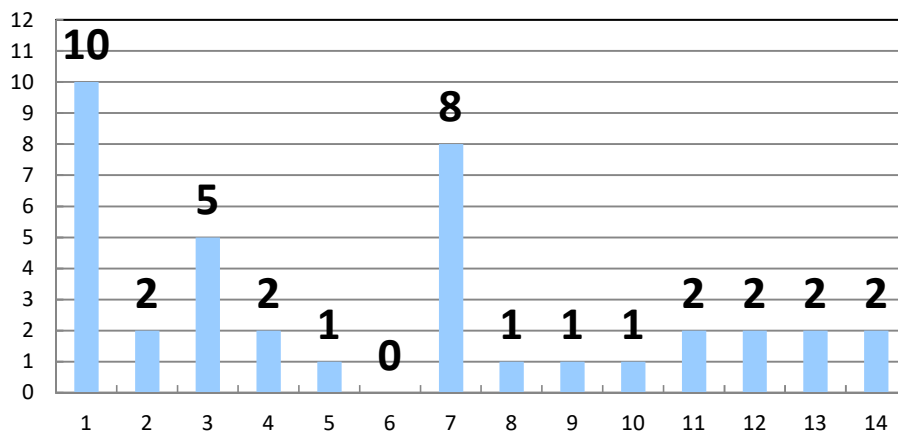
[1] 回答者数:研究者39名・企業55名

学年(研究者)

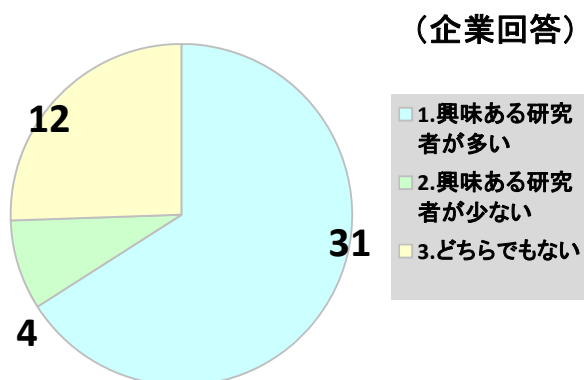


所属(研究者)

1. 理学 2. 生命科学 3. 農学 4. 工学 5. 環境科学 6. 情報科学 7. 総合化学 8. 水産科学 9. 医理工
10. 保健科学 11. 国際食資源 12. 東北 13. お茶の水女子 14. 立命館大

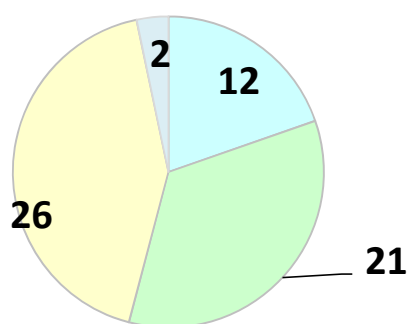
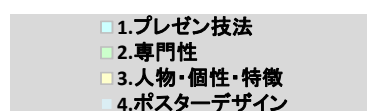
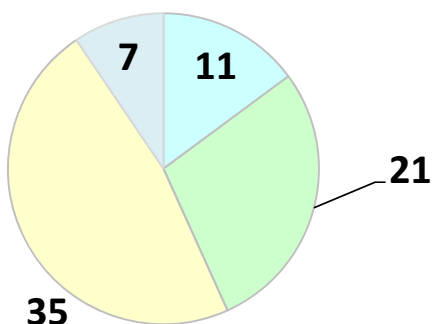
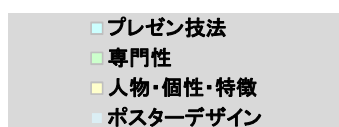


[2] 興味のある研究者はいましたか(企業のみ)

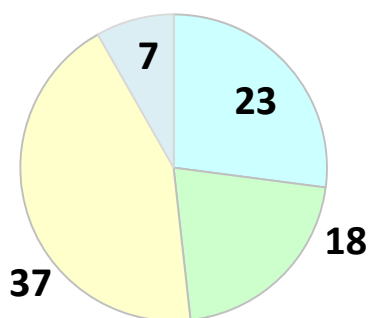
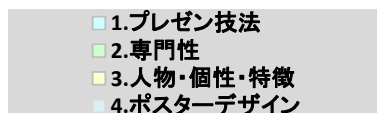


[3] ポスターセッションについて

アピールしたい点/当日アピールできた点(研究者)



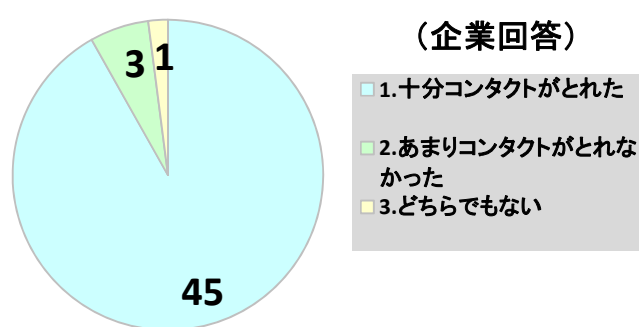
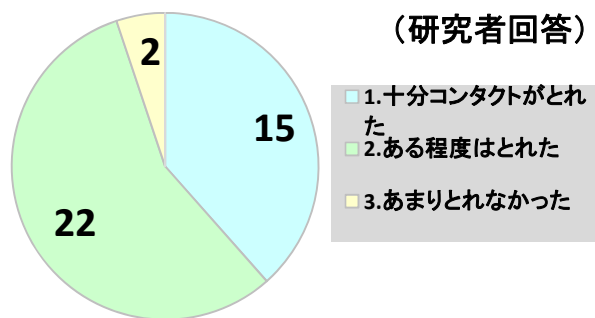
注目する点(企業)



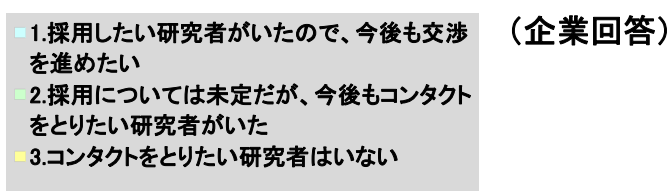
欄外コメント

- ・切り口の独創性と価値創造のポテンシャル
- ・きちんとコミュニケーションとれるか
- ・研究に取り組む姿勢等
- ・質問への回答が適格か

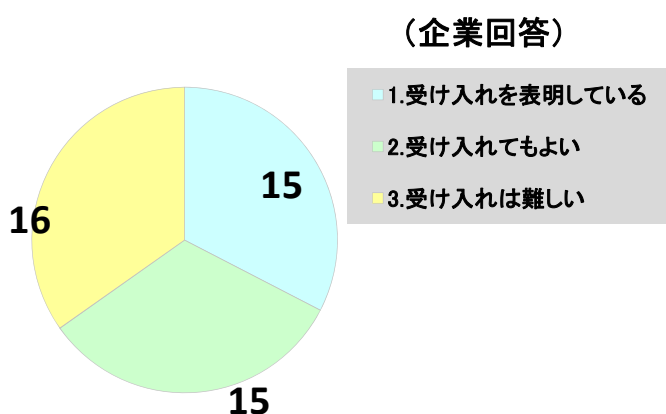
[4] 全体を通して、企業/研究者とコンタクトがとれましたか



[5] 参加研究者に対する今後の対応をお聞かせください(企業のみ)



[6] インターンシップについて(企業のみ)



欄外コメント

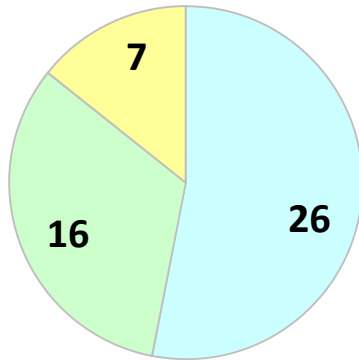
- ・受け入れ側の負荷
- ・博士のみの長期プログラムの必要性がない (特に時期・期間)
- ・1ヶ月は少し難しい

受入を表明している企業

- ・京セラ
- ・データフォーシーズ
- ・三桜工業
- ・日本電気 (NEC)
- ・東芝
- ・みずほ第一FT
- ・ライオン

[7] PD・DC採用について(企業のみ)

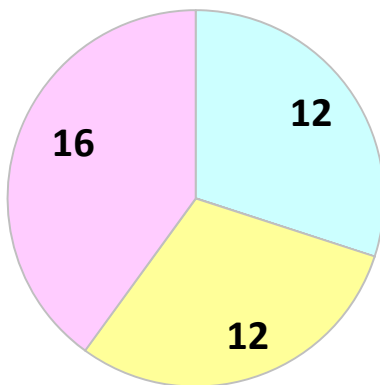
(企業回答)



- 1. 定期的に採用したい
- 2. 不定期ではあるが、採用したい
- 3. 採用については未定

[8] Hi-System(研究者と企業の双方向ネットワーク)はどのように利用していますか?(企業のみ)

(企業回答)

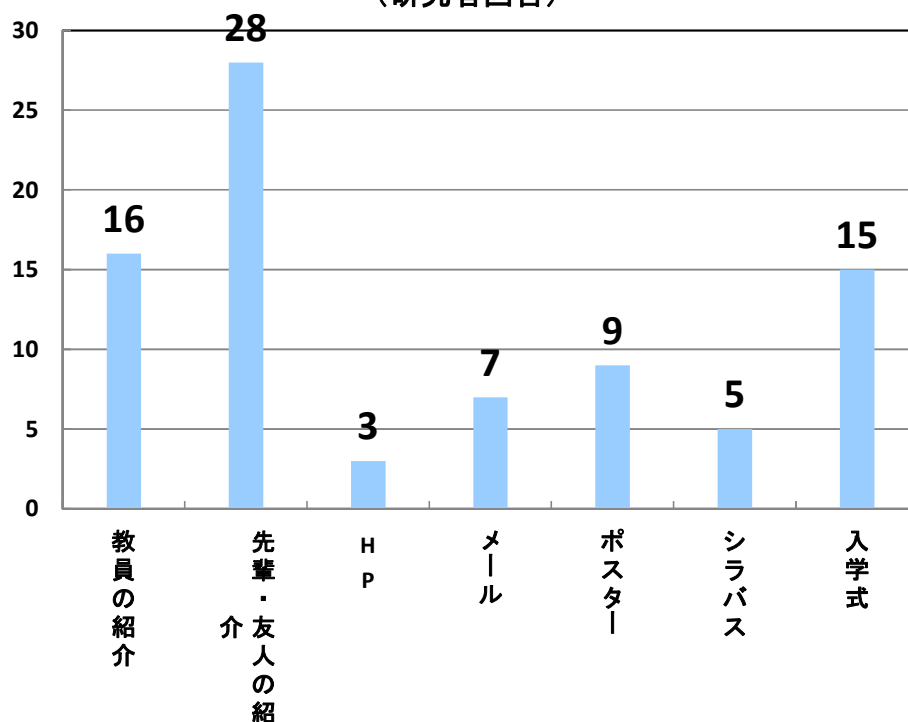


- 1. イベント参加
- 2. コミュニティ
- 3. 研究者検索
- 4. 利用していない

[9] 「赤い糸会&緑の会」の開催を、どのように告知したら良いと思いますか？(複数回答可)(研究者のみ)

1. 教員の紹介
2. 先輩・友人の紹介
3. S-cubic HP
4. S-cubicの案内メール
5. 研究所・学内の展示ポスター
6. 今年度のシラバスを見て
7. 大学院入学の際のオリエンテーションでの案内

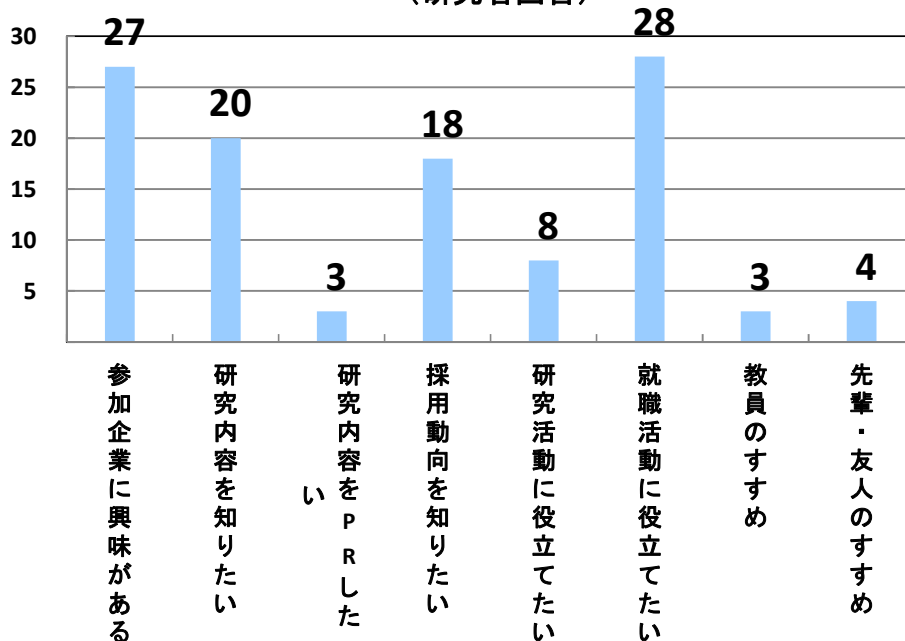
(研究者回答)



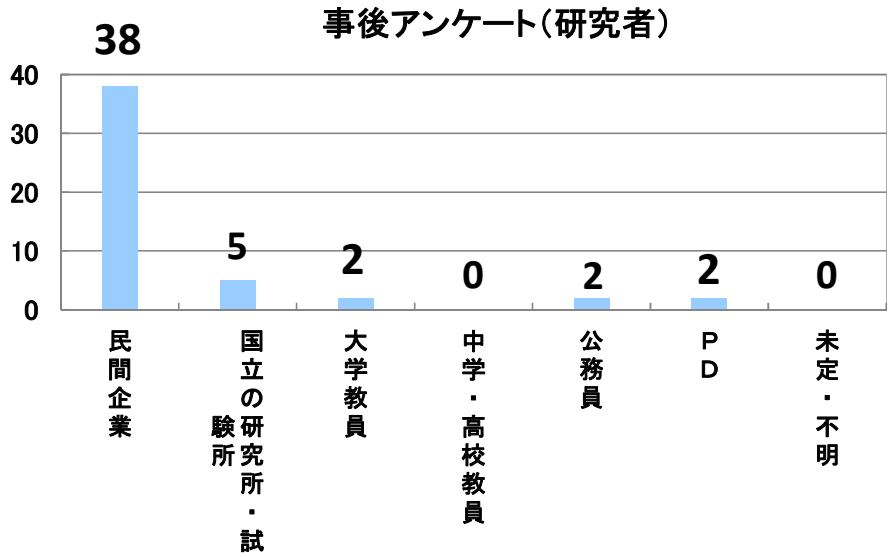
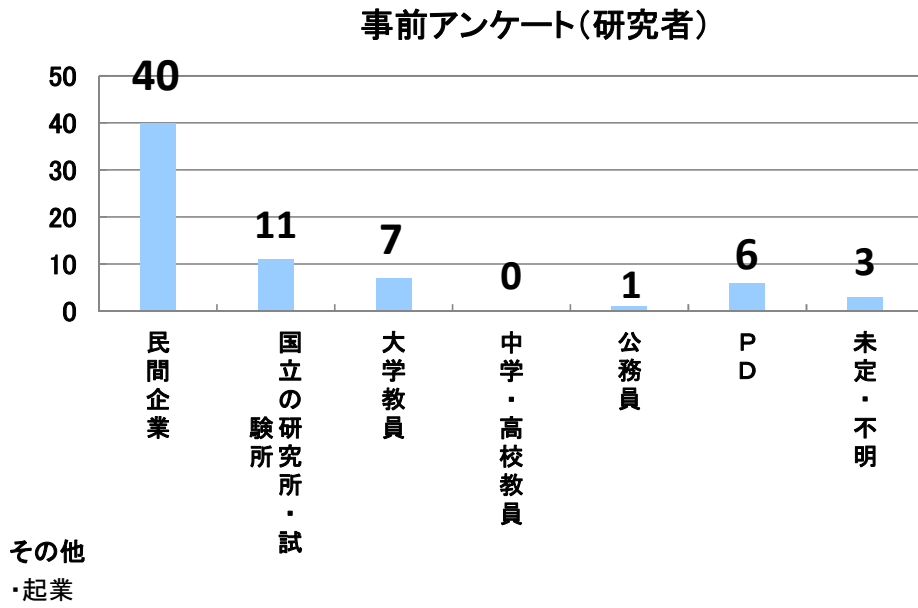
[10] 「赤い糸会&緑の会」への参加理由(複数回答可)(研究者のみ)

1. 興味のある会社があるから
2. 企業の研究内容を知りたいから
3. 自分の研究内容を企業にPRしたいから
4. 企業の採用動向を知りたいから
5. 自分の研究活動に役立てたいから
6. 就職活動に役立てたいから
7. 教員にすすめられたから
8. 先輩・友人にすすめられたから

(研究者回答)

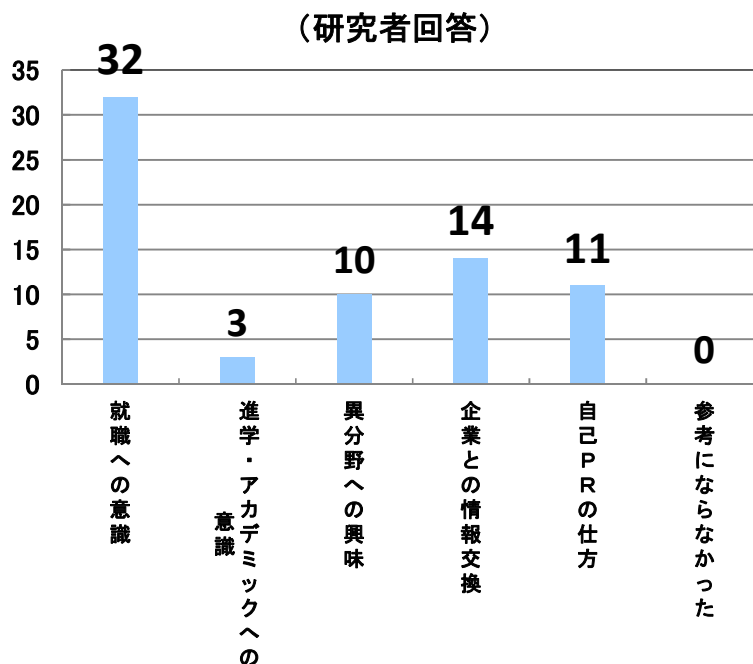


[11] あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)(研究者のみ)



[12] 赤い糸会はどの点が参考になりましたか？(複数回答可)(研究者のみ)

1. 就職への意識が高まった 2. 進学・アカデミックへの意識が高まった 3. 異分野への興味が湧いた
 4. 企業と情報交換できた 5. 自己PRの仕方を考えるきっかけとなった 6. 参考にならなかった



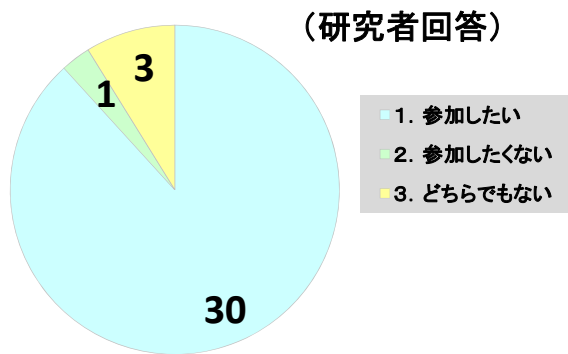
[13] 「赤い糸会&緑の会」へ参加して新たな気づきはありましたか。(研究者のみ)

(研究者)

| | |
|---|---|
| 1 | 社会に活かせる自分の力をもっと具体化する必要があると思った。 |
| 2 | どこにマッチングがあるかは本当にわからない。 |
| 3 | NEC来ないなぞ。ま私は引き立て役なので。 |
| 4 | 企業と実際に交流することの重要性。 |
| 5 | 選択の幅が広がった。 |
| 6 | 研究でまだ足りないところ。自分の能力不足なところ。 |
| 7 | 今回は分野が全く合うと思わなかったのですが、意外とポスターを聴きに来てくださる会社の方がいてびっくりしました。 |
| 8 | 大企業の事業内容の広さを改めて認識した。自分がその中でどうアプローチすべきか考えようと思った。 |
| 9 | 自分がこれまでに知らなかった企業で面白いことに取り組める企業がいくつかあった。 |

| | |
|----|--|
| 10 | 博士に進学したら就職できないということはやはりなかなかなさそうという印象を抱いた。 |
| 11 | ありました |
| 12 | オブザーバの企業とも話す機会が欲しかった。(専門性が完全にマッチしていたため) |
| 13 | 欠員の補填と増員どちらを目的としているかがきけた企業は参考になった。 |
| 14 | 異分野への応用が結構あると気付いた。 |
| 15 | 興味をもつ点は企業によって違うので対応しきれなかった。企業研究が足りなかったと思いました。 |
| 16 | 布ポスター作ってくるべきだった。 |
| 17 | 自身の知識・技術を生かせる場が想像していたよりも多いこと。 |
| 18 | つい、ポスターで話し込んでしまいましたが、10分以内なら10分以内で終わらせないと、多くの方と話せないという当たり前のことを実感しました。 |
| 19 | 自身の研究テーマはマッチングがとりやすい。 |
| 20 | 自身が持つ技術が活かせる場がスポーツ以外にもあること。 |
| 21 | 話をある程度で終わらせる必要性。 |
| 22 | 数学のバックグラウンドを持った人が意外と多い。 |
| 23 | コンピュータを使った研究が増えている。 |
| 24 | 自分の能力が活かせる企業が多い、想像していたより。 |
| 25 | 会社から何がもとめてるのがイメージつかみました。 |
| 26 | 自己PRの仕方について、理由も含めてほめていただき企業の方が面接においてどのように考えているのか参考になった。 |
| 27 | 2年連続で参加すると、顔を覚えていてくださり、励ましの言葉をかけてもらったり、就活のアドバイスをもらえたのはとても嬉しかったので、継続して参加した方がよいと思った。 |
| 28 | 意外なマッチングがあった。 |

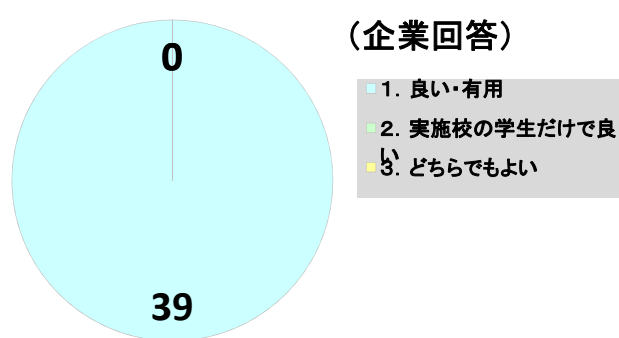
[14] コンソーシアム(全9大学)の取り組みについて
連携校マッチングイベントに参加可能なことについて(研究者)



欄外コメント

- 都合が良ければ
- 所属大学開催とは毛色の異なる企業が来るから。
- どこも似たような感じになってきたら参加しないかもしれない。
- 赤い糸会に参加していない企業が多くいらっしやるのであれば参加したい。

連携大学の学生が参加していることについて(企業)



欄外コメント

- 自大学主催のイベント以外の学生さんは、自分で外に出ていける人であろうと思え。また、外に行くとなるときちゃんと準備する必要もあるためそこも好感が持てる。
- 学生同士も交流できて視野が広がるため
- 大学を問わず、数多く参加してほしい。
- イベントのスタイル(ポスター、ブースでの紹介)が変わらなければ、悪いことはないように思う。

[15] 今後研究者へ期待すること・要望など(企業のみ)

(企業)

| | |
|----|--|
| 1 | 就職を考えると、自身の研究でなく企業に入るための行動を取りたくなるとは思いますが、研究をしていることがまずは大事だと思うので、割合を考えて上手く活動して下さい。 |
| 2 | 研究を楽しんで多くの経験を積んでほしい。 |
| 3 | テーマ発掘力 |
| 4 | 企業の中で自分の研究がどのように応用される可能性があるかをもう少し具体的に考えておくと良いと思う。 |
| 5 | 環境やデータサイエンスに打ち込んでいる学生が多くいるとよい。 |
| 6 | 自分の研究が社会にとってどんな意味を持つのかの考察。 |
| 7 | 新規事業開発創出を意識して頂けると能力UPにつながると思います。 |
| 8 | 1つの研究に集中するのも良いですが、多様な研究をして、視野を広げてほしいです。 |
| 9 | 企業に興味を持ってほしい。 |
| 10 | 自分の専門分野以外にも興味を持ってもらいたい。 |
| 11 | 目の前の研究をつきつめて頂くことはもちろんですが、世の中の動向や自身の研究が世に出た際、どう役に立つのかを考えて頂きたい。 |

| | |
|----|---|
| 12 | 大学で学ぶ以外の経験をぜひどんどんしてみてください。お膳立てされたものではなく、自分で関係を作ったり切り開いたり、能動的に動いてみてください。 |
| 13 | 専門分野をつきつめるのも良いですが、もっと自身の可能性を広げてみることも大事だと思います。 |
| 14 | 研究を磨き、自分の強みを確立してほしい。 |
| 15 | 企業も多様な人材を求めているので、教職の可能性が少しでもあるなら色々とコミュニケーションを取っていただきたいです。 |
| 16 | テーマ分野の違いを超えて将来を考えてほしい。 |
| 17 | 研究開発希望でない学生と出会う場はありますか。 |
| 18 | いつもありがとうございます。インターンシップへの参加をしてくださるような方が来てくださいました。 |
| 19 | 課題提起力のしっかりしていること。研究を行う思いがしっかりしていること。 |
| 20 | 統計・機械学習、プログラミングに強い学生が増えると良いと思います。 |
| 21 | コミュニケーション能力 |
| 22 | 研究の深堀りと社会の動向をよく観察してもらうこと。学生のうちにいろいろな人とコラボして社会性を身につけてもらうこと。 |

[16] 全体を通して、「赤い糸会 & 緑の会」についての感想など

(研究者)

| | |
|----|---|
| 1 | いつもありがとうございます。今後ともよろしく願いたします。 |
| 2 | 日垂化学工業さんとか来ないのかなと(MIとかAIとかかいてあって謎に倍率が低いので気になっている)東京で開催するメリットについて述べてほしいです |
| 3 | 貴重な機会なのでこれからも続けてほしいです |
| 4 | 今回もありがとうございました！ |
| 5 | おおむね満足。 |
| 6 | 学生と企業の方の人数の割合が良かった。これまでの赤い糸会で1番企業の方と交流できた。 |
| 7 | 丸一日だと実験棟の都合をつけるのが難しい |
| 8 | ありがとうございました。就職決まりました。 |
| 9 | 昼食の座席について、北大開催の時は企業ブースに向かえばよかったので楽だったが、今回は完全ランダムだったので目当ての企業の方をみつけることができなかった。(特に午後発表の企業だったため顔が分からなかった)偶発的なマッチングが狙いならいいとおもう。例えば昼食会場にスタッフの人がいて探すの手伝ってくれるなどあればすごく助かったかもしれません。 |
| 10 | パネルの間の幅がもう少し広いとよかったと思います。 |
| 11 | 企業ブース3席制度、ちょうど良いかも。 |
| 12 | ひらいていただきありがとうございました。 |
| 13 | 今年もお世話になりました。 |
| 14 | 昼食会がどの企業がどこにいるのかわかりにくかった。アンケートかく場所がなくて泣きそうでした。 |
| 15 | これからも継続していただきたいです。 |
| 16 | 昼食時に企業の方々の場所が決まっていなかったなので、聞きたい企業の場所に行けなかった。 |
| 17 | 発表中に一度休憩を設けてほしかった。 |
| 18 | 撮影カメラの音、フラッシュが非常にわずらわしい。もっと控えめにしてほしい。 |

(企業)

| | |
|----|---|
| 1 | 相変わらずの内容で盛り沢山でした。やはりこのスタイルは学生、企業双方にとって有益であると思います。 |
| 2 | 非常に良くオーガナイズされている。 |
| 3 | 意欲の高い方が多いです。 |
| 4 | 学生と企業の比率が良かった。 |
| 5 | 研究者と多く交流ができたのが新鮮でおもしろかったです。 |
| 6 | DC1の方の情報収集になったのなら良い。 |
| 7 | 学生の意識が良く教育されており、コミュニケーションが取りやすかった。 |
| 8 | このような機会をいただき感謝申し上げます。 |
| 9 | 学生がもう少し多くても良い |
| 10 | 丸1日をかけて学生と話ができるため、研究だけでなく、人となりもわかる所が良い。規模も適している。 |
| 11 | 継続してほしい。 |
| 12 | 最近のホット領域であるデジタル系が多く、研究内容を知れ、直接対話できるので有益。 |
| 13 | とても良い運営で、いつもありがとうございます。 |

| | |
|----|---|
| 14 | すごくしっかりした運営で安心感があります。特にポスター後の企業ブース訪問は確実なコミュニケーションが出来ました。 |
| 15 | 優秀な人材が多く、コスパの良さは1番です。リクルート会社とコスパ良さは比較になりません。 |
| 16 | 全員へのアピールタイム(ショートトーク)、ポスターセッション、ブース説明と十分に学生にアピールとコンタクトできる場があったのは良かった。特にポスターセッションは時間も長く設定されており、聞きたい学生を全て回ることができた(学生に対する企業も多すぎず、良かった。) |
| 17 | 博士人材と企業側が接触できるのは大変良い機会だと思います。 |
| 18 | 初めて参加させていただきました。素晴らしいイベントだと思います。 |
| 19 | 学生さんへの教育をきちんとできているイベントだと思っています。引き続きよろしくお願いします。 |
| 20 | いつも思っておりますが、運営がすばらしく、学生の方々への教育もしっかりされていると感じます。 |
| 21 | 非常に良いイベント。今後も参加させていただきたい。 |
| 22 | Dr.の方とコミュニケーションが取れる貴重な機会であり、今後も続けて頂きたい。 |
| 23 | 様々な方との接点を持ててよかったです。人事との橋渡しができるよう私が善処します。 |
| 24 | いつも学生さんのポスター・説明がしっかりしていると感じます。 |
| 25 | 活気あふれて素晴らしい会でした。来年もよろしくお願いします。 |
| 26 | 数学・情報系の学生がもっと多いと当社にとっては有用です。 |
| 27 | 非常に有意義かつ効率的なマッチングの機会でありました。 |
| 28 | 良い取り組みと思う。 |
| 29 | 若い研究者の話をきくことが出来、有用であった。 |
| 30 | 有望な方が多数いらっしゃると感じます。 |
| 31 | 細部に配慮された運営ありがとうございました。 |
| 32 | いい会だと考える。全国的にいろんな大学がこの仕組みを使うと良いと感じる。 |

[17] J-Window(人材育成本部教員との面談・エントリーシートなどの添削・面接練習)を希望しますか(研究者のみ)

